

◇ 9月の天文暦 ◇

日	時	記	事
6	4	朔	
	13	月	最近
8	16	白露	(太陽黄経 165°)
12	21	上弦	
14	7	水星	東方最大離角
17	0	金星	留
20	16	月	最遠
	21	望	
24	1	秋分	(太陽黄経 180°)
27	7	水星	留
28	21	下弦	

☆ 天文教育施設めぐり (Ⅷ) ☆

中国地方

中国地方には、公開の施設として、天文博物館が1館と、プラネタリウムのある科学館が5館ある。

山陽本線鴨方駅から定期バスで10kmの竹林寺山頂に東京天文台岡山天体物理観測所がある。構内の付設展示館(岡山天文博物館)には、天文に関する模型・写真・パネルなど展示されている。休館日(毎月第1・第3月曜日)のほか毎日9時から16時30分まで公開されて

いる。東洋一の188cm反射望遠鏡ドーム内は、見学者用廊下からガラス越しに見学できる。ここは尾根つづきの遙照山とともに展望がよく、国立公園瀬戸内海の風光が美しいので、行楽シーズンには見学者が特に多い。

プラネタリウムは、別図●印の施設のうち岡山天文博物館を除く5館にあって、いずれも国産機でドームは直径が8m~15m級のものである。そのうち昭和38年5月に開館した岡山県立児童会館の機械は、五藤光学製、M2型、15mドームに固定席が269ある。月末と月曜日の休館を除いて、毎日10時半・1時・3時の3回月別の主題によって一般向の投影を45分間、その中間時間帯を利用して、学習投影を希望する学年別の学校団体および幼児向特別番組の予約を受付けて投影している。この館の特色は、長年にわたって職員が考案製作した数多くの補助投影器を利用して、よくわかる楽しい投影にする努力のあとが見られることである。

この他に、山口県山陽町の山陽パーク(ミノルタ)、宇部市勤労青少年会館(五藤)、津山科学教育博物館(西村)、鳥取砂丘子どもの国(ミノルタ)のプラネタリウムが、それぞれ館の名称が示すような特色のある運営によって、天文教育の普及に努めている。(永広徳一)

